

【グループワーク用・事前情報】 Aさんについて

今回の研修では、「Aさん」のこれからを皆さんで考えていただきます。それに先立ち、本資料の一読をお願いします。

【結婚まで】

- Aさんは、昭和13年に、現在の住まいである●●市から2時間ほど離れた町に生まれました。小さい頃から特に大きな病気をしたこともなく、入院も娘のお産の時くらいしかしたことありません。
- 地元の高校卒業後は県内のデパートに就職し、アルバイトに来ていた大学生と知り合い23歳で結婚しました。

【20～50歳代のAさん：3人の典型的な核家族】

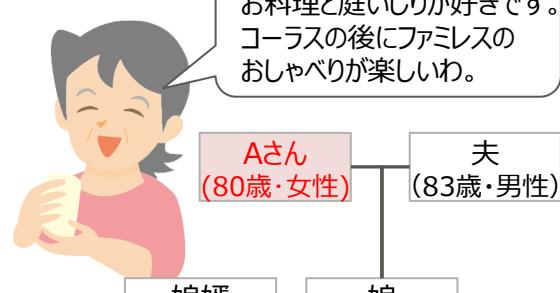
- 結婚を機に、Aさんは仕事を辞めて専業主婦となりました。25歳で一人娘が生まれましたが、夫は忙しく、子育てはAさん一人が担う典型的な核家族でした。夫に転勤は多く、子どもを通じた友人もなかなかできませんでした。
- 転勤が落ち着き、娘の高校入学を機に、転勤先でニュータウンの一戸建ての住宅を購入しました。それが現在の家です。地縁はありませんでしたが、街並みのきれいさや緑豊かな公園が気に入り、よく家族でも散歩をしました。
- 周囲はAさんたちより若い家族が多く、子どもを通しての交流や住民活動も盛んな地域でもあるようでした。しかし、既に娘も高校生であり、特に地域に親しい友人はできず、隣近所とも天気の話をする程度のつきあいでした。
- でも、娘に手がかかるなくなってきた頃、歌が好きなAさんは少し離れた隣町のコーラスサークルに入りました。歩けば遠いけれど、車で通えば15分位です。隔週の練習の帰りには、ファミレスでお茶を飲むような仲間もできました。

【50～60歳代のAさん：夫婦二人家族へ】

- 娘は27歳で結婚、特急で2時間離れた遠方に嫁ぎ、30歳で母親となりました。Aさんは、孫娘をかわいがり、遊びに来ると喜んで得意のちらし寿司を作つるまいました。Aさんのちらし寿司は、昔から家族の大好物です。料理好きのAさんは、誰かにつくつてあげること、おいしいと言ってもらうことに、とても大きな喜びを感じていました。

【高齢期を迎えたAさん：高齢の夫婦のみ世帯へ】

- 夫は65歳まで働きました。引退後の夫婦共通の趣味は庭いじりで、夫婦ともバラの栽培では玄人はだしていました。バラが咲く時期の庭は人々が足を止め、見とれるほどの美しさで、Aさんと夫には自慢の庭でした。
- 今から10年前、夫は73歳で心筋梗塞で倒れ、その後は床に臥せることも多くなり、70歳のAさんが73歳の夫を支える日々が始まりました。庭を見ること、おいしいものを食べることが病弱な夫の大きな楽しみとなり、Aさんはよりいつそう庭いじりと料理に精をだしました。
- 夫婦仲は良いAさん夫婦でしたが、Aさんにもストレスは溜ります。特に健康上の問題もないAさんは、70歳を越えても隔週の土曜日は自分で車を運転して隣町のコーラスサークルに通い続け、その後にはファミレスで仲間とのたわいのない会話で適度に息抜きをして穏やかに暮らしていました。
- Aさんは80歳、Aさんの夫は83歳になりました。



お料理と庭いじりが好きです。
コーラスの後にファミレスの
おしゃべりが楽しいわ。

Aさん（80歳・女性）
 夫と二人暮らし。
 趣味はコーラスと庭いじり。
 夫婦仲は良好、隣近所とは挨拶程度。
 Aさんに健康上の問題は特に無いが、
 夫は大病後、自宅で療養中。
 娘は結婚し、2時間ほど離れた所に住んでいて、時々様子を見に来る。